

2026 年度 社会系教科教育学会 第 37 回研究発表大会プログラム

大会テーマ：教育の柔軟化に対して社会系教科はどう向き合うか

1 期 日

2026 年 2 月 21 日（土） 自由研究発表 I，シンポジウム，理事会，総会

2026 年 2 月 22 日（日） 自由研究発表 II，課題研究 I・II

2 場 所

兵庫教育大学加東キャンパス嬉野台地区 共通講義棟（対面開催）

3 日 程

2026 年 2 月 21 日（土）

8:30	9:30	12:00	13:30	16:00	16:10	16:45
	受付	自由研究発表 I	理事会	シンポジウム		総会

2026 年 2 月 22 日（日） 課題研究，自由研究発表

9:30	12:00	13:00	15:30
	自由研究発表 II	休憩	課題研究 I・II

4 主 催



社会系教科教育学会

5 後 援

国立大学法人 兵庫教育大学

日本教職大学院協会

兵庫県教育委員会

加東市教育委員会

研究発表大会事務局

〒673-1494 加東市下久米 942-1 兵庫教育大学内

社会系教科教育学会 第 36 回研究発表大会事務局

山内敏男

e-mail: tyamachi@hyogo-u.ac.jp

2月21日(土)

9:30~12:00

自由研究発表 I

【第1分科会】102教室

司会 広島大学 草原 和博 三田市立ゆりのき台中学校 王子 明紀

(1) 観光学の研究の視点を組み込んだ中学校社会科のカリキュラム開発 (I)

—3分野における課題解決的な単元の提示—

大阪人間科学大学 金子 遥

同志社大学 柳澤 彰紀

(2) 観光学の研究の視点を組み込んだ中学校社会科のカリキュラム開発 (II)

—公民的分野「私たちが生きる現代社会と文化の特色」の指導事例—

同志社大学 柳澤 彰紀

大阪人間科学大学 金子 遥

(3) 法的判断力の育成を目指した小学校社会科の方法

—米国法教育教材『民主主義の基礎 (FOUNDATIONS of DEMOCRACY)』の再評価—

岡山大学・学部 福永伸之介

(4) 研究授業に取り組む意義の再評価とプロジェクト型授業研究の提案

—中学校公民的分野「中学生未来トーク」の授業開発過程を事例に—

三田市立ゆりのき台中学校 王子 明紀

(5) 家族のあり方と法制度の関係について考える法教育の構想

—中学校社会科公民的分野小単元「夫婦別姓」の開発を通して—

岡山大学大学院 宮本あゆは

【第2分科会】104 教室 司会 比治山大学 西川 京子 高知大学 末永 琢也

(1) 興味・関心を起点とした深い学びの実現

—学習と生活を往還する社会科学習の探究—

比治山大学 西川 京子

(2) ESD の視点を取り入れた地域学習教材の開発

—世界農業遺産である静岡県の水わさび栽培を事例に—

奈良教育大学大学院 池本 翔真

京都市立西院小学校 山平 楓

(3) 実社会を問い直し、持続可能な未来社会を構想する社会科授業開発

兵庫教育大学附属小学校 笈田 太郎

兵庫教育大学 山内 敏男

兵庫教育大学 福田 喜彦

兵庫教育大学 吉川 修史

(4) 歴史的解釈を批判的に分析する中学校社会科授業の開発研究

—『歴史家のように読む』のアプローチをもとにして—

兵庫教育大学大学院 堀尾 直希

(5) 世界遺産学習の課題と展望

—中学校社会科における「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の一事例—

奈良教育大学大学院 河合 悠真

【第3分科会】106 教室 司会 大阪体育大学 岡崎 均 兵庫教育大学 濱野 清

(1) 国民としての主体的な政治参画を促す当事者性の涵養を追究した社会科授業の開発(1)

北朝鮮による拉致問題を取り上げた小学校社会科授業の実践を通して

岡山大学・学部 中山 陽貴

岡山大学・学部 寺元 智美

岡山大学・学部 久戸瀬寛祐

岡山大学 山田 秀和

岡山大学 桑原 敏典

(2) 国民としての主体的な政治参画を促す当事者性の涵養を追究した社会科授業の開発(2)

北朝鮮による拉致問題を取り上げた中学校社会科授業の実践を通して

岡山大学・学部 小田 一輝

岡山大学・学部 池田 保之

岡山大学・学部 福永伸之介

岡山大学 山田 秀和

岡山大学 桑原 敏典

(3) 包括的性教育をめざした社会科カリキュラムの改善方法

—中学校1年生での4単元の実践を通して—

広島大学大学院 野呂 航平

(4) 共感の陶冶を視点とした市民的資質の育成 —社会科教育における情意の一考察—

京都市立久世中学校 弘田 真基

【第4分科会】108 教室 司会 京都女子大学 松岡 靖 帝塚山大学 松浪 軌道

(1) 「日本人性」の脱構築を促す小学校社会科授業構成

—コンテキスト・シフティングを活用して—

大阪市立野田小学校・佛教大学大学院 石元 周作

(2) 教科書を網羅しない社会科授業の設計論 —概念的教科書活用の方法と意義—

関西学院初等部 宗實 直樹

(3) 暴力の三角形の視点を導入した社会科における公害学習の単元開発研究

—小学校第5学年「尼崎公害から社会の矛盾を考える」の場合—

尼崎市立武庫南小学校 川向 雄大

(4) 被爆体験の伝承に対する当事者意識を涵養する小学校社会科授業の開発

伝えられる側と伝える側の両方の立場から考えることに着目して

広島大学附属東雲小学校 原紺 政雄

(5) デジタル・シティズンシップの育成をめざす小学校社会科「情報単元」の開発

—フィルターバブルの利点活用に着目して—

帝塚山大学 松浪 軌道

【第5分科会】101 教室 司会 広島大学 宇都宮明子 広島文教大学 西村 豊

(1) 日本における未来洞察型授業の現在地点とこれから —学習者と実践者の関係性組み換えに

よる不確実な未来の描き方に焦点を当てて—

兵庫県立青雲高等学校 岩橋 嘉大

創価大学 津山 直樹

奈良教育大学 澁谷 友和

(2) 平和の実現に向けて多様な史料から価値判断を図る歴史学習の授業開発 —通信制高校にお

けるスクーリングの特異性に着目して—

兵庫県立青雲高等学校 高尾 育未

兵庫県立青雲高等学校 岩橋 嘉大

(3) 未来洞察の論理を組み込んだ小学校社会科政治学習の授業開発

—第6学年単元「どうする！ふるさと納税」を事例にして—

奈良教育大学 澁谷 友和

國學院大學 佐藤 克士

(4) 地域における史資料の歴史授業の活用と可能性

—谷屋家文書の教材化を通して—

鳴門教育大学大学院 横田 恭介

(5) 歴史的エンパシーの活用を通して学習者のレリバンスを構築する授業開発

—中学校社会科歴史的分野の単元「藤原純友の乱」を事例として—

香川大学大学院 福田 雅英

【第6分科会】105 教室 司会 兵庫教育大学 福田 善彦 兵庫教育大学 吉川 修史

(1) 公立小学校において社会科の授業がいかに開発されるのか

—第5学年「情報がつなぐ人・社会・未来」の開発プロセスの検討—

岡山市立富山小学校 小笠原優貴
赤磐市立城南小学校 藤原 崇

(2) 生活科を研究教科とする教師の語りにみられる生活科観の特質

—A大学附属小学校教師を対象とした分析を通して— 広島大学大学院 内海 美帆

(3) 社会科教師のナショナル・アイデンティティ認識に関する研究動向

—世界各国の実証研究を対象としたスコーピング・レビュー—

広島大学大学院 井戸 浩太

(4) フィリピンと日本の高等学校社会系教科教員の PCK と JOC（正義志向的市民性）の比較研究
実践を促進または制約する社会的・文化的条件に注目して

岡山大学大学院 Basa Audrey Jeremae
岡山大学 桑原 敏典

【第7分科会】111 教室 司会 千葉大学 阪上 弘彬 北海道教育大学釧路校 玉井 慎也

(1) 「実存的な問い」を用いてレリバンス構築をめざす中等歴史教育授業開発

—高等学校地理歴史科日本史探究における実践を事例として—

兵庫教育大学大学院 杉浦 大輔

(2) カナダにおける民主主義教育としての歴史単元構成原理

—社会科教育者ネットワークの推奨リソースに着眼して—

北海道教育大学釧路校 玉井 慎也

(3) デジタル歴史文化の教材化はどうありうるか

—ドイツ歴史教科書における歴史ゲームの取り扱い—

山梨大学 服部 一秀

(4) 困難な歴史を通して平和を求める歴史意識の育成を目指す授業開発

—詫間海軍特別攻撃隊を題材として—

香川大学大学院 勝部 雛子

(5) 歴史総合における「大衆化」の深い理解を目指した単元開発

—社会学の知見を用いた1次的概念の整理を手がかりに—

広島大学附属中・高等学校 原田 歩
広島大学附属中・高等学校 久賀 隆之
広島大学附属中・高等学校 鶴田 輝樹
千葉大学 阪上 弘彬

シンポジウムテーマ **教育の柔軟化に対して社会系教科はどう向き合うか**

現代社会は、グローバル化、情報技術の急速な進化、複雑化する社会課題といった変容の渦中にある。こうした時代背景を踏まえ、教育の質・公平性・持続性を三位一体で高めるための包括的な改革の内容として、資質・能力の育成を目指した目標や内容の見直し、デジタル学習基盤の活用などの指導・評価の改善が求められている。これらの理念・方向性を実現するための方策として、学校教育全体を見通したカリキュラム・マネジメントの推進や児童生徒や地域の実態に応じた教育の「柔軟化」が検討されている。

一方で、依然として旧来の知識偏重型・系統主義的なカリキュラムから本質的に変わらないという構造的なジレンマや困難さに直面している実践者の姿があることは否定できない。とりわけ社会系教科では、「総合的な学習（探究）の時間」との関わりや「よりよい社会の実現」に直接的に関わる資質・能力を育む役割を負っていることを踏まえるならば、「概念」の位置づけや「探究」の実質化は改めて問われる必要がある。

そこで、本シンポジウムでは教育の柔軟化は何のために何をを目指すのかを問い、柔軟な教育課程を編成・実施している実践事例報告に加え、研究者による整理、提案も交えたい。そして「教育の柔軟化」という名のもとに進む変革に対し、社会系教科がいかに教育的課題と向き合い、その固有の価値を発揮・実践できるのか、現職教員と研究者の対話・協働の場をもち、議論を図りたい。

シンポジスト 大矢 幸久 (学習院初等科)
鬼塚 拓 (宮崎市立宮崎中学校)
角田 将士 (立命館大学)

指定討論者 吉水 裕也 (関西学院大学)
コーディネーター 服部 一秀 (山梨大学)
山内 敏男 (兵庫教育大学)

2月22日(日)

9:30~12:00

自由研究発表Ⅱ

【第8分科会】102教室 司会 川崎医療福祉大学 中原 朋生 鳴門教育大学 井上 奈穂

(1) 高等学校公民科における政治的判断力育成のための条件整備

—授業実践「選挙情報の獲得方法を増やそう」の振り返りから—

鳴門教育大学大学院 岡 俊樹

(2) 米国社会科における Doing Democracy の論理と実践

—民主主義実践プロジェクト『アメリカの約束』(1998)を手がかりに—

川崎医療福祉大学 中原 朋生

九州国際大学 酒井健太郎

環太平洋大学 小川 正人

(3) 政治的リテラシーを育成し主権者教育の充実を図る中学校社会科授業開発

—現代貨幣理論(MMT)・消費税の理解を通して—

富山県教育委員会 西部教育事務所 龍瀧治宏

(4) アルゼンチンの日系移民の教材化と授業構想

—中学校社会科における多文化共生教育の可能性— 北九州市立霧丘中学校 山本 敬典

(5) 社会的論争問題学習は市民としての行動にどのように影響したか

選挙制度をめぐる熟議を通して

美浜町立美浜中学校 行壽 浩司

【第9分科会】104 教室 司会 西九州大学 松井 克行 奈良教育大学 澁谷 友和

(1) 平和主義から日本の防衛問題を多面的・多角的に考察する中等社会科教育内容開発
— 単元「日本が攻められないようにするにはどうすればよいか」の場合 —

西九州大学 松井 克行

(2) 自文化と異文化の二項対立を克服するグローバル・シティズンシップ教育 (GCED) の方法
に関する研究 日韓の音楽文化を取り上げた「総合的な学習の時間」の授業開発を通して

岡山大学大学院 小西 光

(3) 国際市民の育成を目指す小中学校社会科授業の開発

— 当事者性を軸にした法や政治制度に着目して —

広島大学附属三原小学校 森 清成

広島大学附属三原小学校 松林 泰弘

広島大学附属三原中学校 河原 洸亮

広島大学附属三原中学校 柳生 大輔

広島大学 永田 忠道

広島大学 川口 広美

(4) 初等教育機関における憲法学習の史的展開

戦前の台湾公学校における憲法学習の分析を中心に

大阪常磐会大学 井上 敏孝

(5) 社会インフラにおける医療・福祉システムに着目した小学校社会科授業開発研究

— 第6学年単元「コロナ政策から見える日本」を事例として —

高知大学 末永 琢也

【第10分科会】106教室 司会 岡山大学 桑原 敏典 神戸学院大学 大西 慎也

- (1) 災害時の外国籍住民が取り残される問題を構造的問題として捉える小学校社会科防災学習の開発 —第4学年単元「自然災害から命を守る」を事例にして—

奈良教育大学大学院 木津 史晴

- (2) グローバル化した地域産業のあり方を判断する初等社会科授業の開発

広島大学大学院 西畑 郁希

広島大学大学院 内海 美帆

- (3) 自動運転を題材とした授業

—小学校5年生社会科「我が国の情報と産業の関わり」における教材開発—

愛知教育大学大学院 附属名古屋中学校教諭 栗本 一輝

- (4) 社会科教育における社会問題学習の体系化 方法論的分析を踏まえて

鳴門教育大学大学院 永嶋信一郎

- (5) 実践者の意識を活かした共同的な授業づくり

—第5学年単元「暮らしを支える情報～5Gの世界～」を通して—

滋賀県蒲生北小学校 松浦 雄典

【第11分科会】108教室 司会 岡山大学 山田 秀和 兵庫教育大学 山内 敏男

- (1) 「社会科の性格」診断カードの開発と中学校実習での利用

—中学校教員志望ではない実習生の授業観察・構想ツールとして—

北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程 澤田 康介

北海道教育大学釧路校 玉井 慎也

- (2) 教育機関におけるエージェンシー育成プログラムの考察

—協働評価学習を取り入れた経験学習サイクルの実践—

三重大学大学院 杉本あゆみ

- (3) 社会正義志向の教員養成の困難さとは何か

—社会科教員養成に携わる大学教員のフォーカス・グループディスカッションから—

千葉経済大学 久保 美奈

宮崎産業経営大学 小野 創太

広島大学 川口 広美

福山大学 両角 遼平

- (4) 専門職共同体における社会科教師のやりとりに関する事例研究

—インフォーマルな研究会における葛藤に着目して—

府中市立府中第四中学校 岩渕 公輔

- (5) 社会科を核とした校内研修による教師の意識変容

—2名の教師の語りの縦断的分析を通して—

南九州市立宮脇小学校 小原 武

【第 12 分科会】 101 教室

司会 北九州市立板櫃中学校 岩野 清美 北海道教育大学札幌校 星 瑞希

- (1) 学習者のレリバンス形成を目指したパフォーマンス課題と評価方法に関する研究

小学校 6 年生の歴史学習の事例から 兵庫教育大学大学院 谷水 恵太

- (2) 小学生は「武士」をどのようにイメージしているのか

第 3 学年と第 6 学年の描写の比較分析 札幌市立琴似中央小学校 今 祐貴
北海道教育大学札幌校 星 瑞希

- (3) AAR サイクルを関連付けて学習し資質・能力を育成する小学校社会科授業

— 学習評価「できるようになること」の見える化を通して —

静岡市立服織小学校 大西 洋

- (4) Vulnerability の社会科教育学 — ジュディス・バトラの理論を手がかりに —

北九州市立板櫃中学校 岩野 清美

- (5) 自律的な歴史探究を促すワークブックの開発・実践

日本の高等学校におけるイングランド GCE-A レベルの再文脈化の事例として

滋賀県立東大津高等学校 松本 理敬

【第 13 分科会】 105 教室 司会 関西学院大学 吉水 裕也 龍谷大学 中本 和彦

- (1) 主体的に社会に関わろうとする生徒の育成を目指した社会科地理授業の開発

— 単元「未来の年表～未来の日本（人口減少社会）をどのようにデザインすべきか～」 —

明石市立錦城中学校 田沼 亮人

- (2) 日本地理における「見方・考え方」をどう育てるか

— 中学校社会科地理的分野大項目 C「日本の様々な地域」における単元構成の再検討 —

川西市立明峰中学校 辻 常路

- (3) 「自由進度学習」の導入による地理的技能の育成

— 中学校社会科地理的分野「日本の地域的特色と地域区分」の実践を通して —

兵庫教育大学大学院 西賀 陽平

- (4) 地理的概念「持続可能性」を組み入れた中学校社会科地理的分野

「ヨーロッパ州」の単元開発

宮城教育大学 吉田 剛

宮城教育大学大学院 菅原 葉咲

- (5) 景観写真の読み取りの視点について

— 住まう人々が創りだす景観を読み取るために —

神戸学院大学 久保 哲成

【第14分科会】111教室 司会 島根大学 紙田 路子 山梨大学 服部 一秀

(1) 社会論争問題学習における当事者性の保障高等学校「歴史総合」

小单元「紛争鉱物から考える私たちの社会」の開発を事例として 島根大学 紙田 路子

(2) 創造的想像力を育成する歴史授業の開発と検証

広島大学大学院 舟津 実緒

(3) シティズンシップの育成を通して社会認識体制の科学化を行う歴史授業開発

—国家観・社会観，イデオロギーの「対立」に着目して— 千葉大学 戸田善治

(4) 「意味再帰化」の歴史授業構成の原理に関する研究

—高校生調査の成果を手がかりに— 広島文教大学・兵庫教育大学大学院 西村 豊

(5) ナラティブを援用して歴史的意義を構築する授業の開発

—歴史総合・小单元「大嶺炭田とルール炭田」を事例として—

美祢市立豊田前小学校・兵庫教育大学大学院 松村 淳

課 題 研 究 (13:30 - 16:00 対面型)

課題研究Ⅰ 初等社会系教科教育において教育の柔軟化にどう向き合うか (共通講義棟 106)

課題研究Ⅰでは、本シンポジウム「教育の柔軟化に対して社会系教科はどう向き合うか」に基づき、初等社会系教科において教育の柔軟化は何のために何をを目指すのかを問い、教科の固有の価値を發揮できるのか、柔軟な教育課程を編成・実施している実践事例報告に加え、研究者による整理、提案も交えたい。そして「教育の柔軟化」という名のもとに進む変革に対し、初等社会系教科がいかに主体的に向き合い、その固有の価値を發揮できるのか、現職教員と研究者の対話・協働の場をもち、議論を図りたい。

シンポジスト	長瀬拓也	(同志社小学校)
	中村光則	(広島叡智学園中学校・高等学校)
	岡田了祐	(富山大学)
指定討論者	岡崎 均	(大阪体育大学)
コーディネーター	松岡 靖	(京都女子大学)
	吉川修史	(兵庫教育大学)

課題研究Ⅱ 中等社会系教科教育において教育の柔軟化にどう向き合うか (共通講義棟 108)

課題研究Ⅱでは、本シンポジウム「教育の柔軟化に対して社会系教科はどう向き合うか」に基づき、中等社会系教科において教育の柔軟化は何のために何をを目指すのかを問い、教科の固有の価値を發揮できるのか、柔軟な教育課程を編成・実施している実践事例報告に加え、研究者による整理、提案も交えたい。そして「教育の柔軟化」という名のもとに進む変革に対し、中等社会系教科がいかに主体的に向き合い、その固有の価値を發揮できるのか、現職教員と研究者の対話・協働の場をもち、議論を図りたい。

シンポジスト	五十嵐辰博	(千葉大学教育学部附属中学校)
	久保美奈	(千葉経済大学)
	大脇和志	(宇都宮大学)
指定討論者	桑原敏典	(岡山大学)
コーディネーター	濱野 清	(兵庫教育大学)
	福田喜彦	(兵庫教育大学)
	阪上弘彬	(千葉大学)